

減量化に向けた施策（案）

	一般廃棄物処理基本計画—具体的施策—	審議会意見		減量効果	主要施策(事務局案)
		意見・課題	対策		
1 循環型社会の形成に向けた基盤づくり	①情報発信と情報の共有		違うメンバーでワークショップを行う		
	○広報誌、啓発誌、ホームページ、掲示、イベントなど様々な手法や媒体を活用した情報発信			◎	イベント開催場所の考慮/事業者との連携
	○市民、地域団体等が実践している取り組みの情報収集			◎	啓発ブックの活用
	○市内事業所の取り組みや店頭回収等の情報収集			◎	啓発ブックの活用
	○国の動きや他自治体の事例など先進的取り組みの情報収集			◎	啓発ブックの活用
	②環境教育、環境学習の充実				
	○ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施	出前講座への参加者が少ない	参加できない市民に対するDVD等の活用	◎	DVD貸出制度の創設、啓発ブックの活用
	○小学校4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進	幅広い年齢層に啓発をすることが必要		◎	啓発ブックの活用
	○国崎クリーンセンターの見学に伴う出前講座の実施	ごみ処理の実態を知らない	見学会の規模拡充。バス手配の検討	◎	DVD貸出制度の創設/バス手配方法の検討
	○学校園・保育所等との連携強化				
③協働による取り組みの展開	○マイバッグ持参・ノーレジ袋運動の実施			◎	現在の運動の拡大
	○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	市民参加制度として参加人数が少ない	市民を巻き込む形で参加人数を増加させる。	◎	ごみ減量等推進員制度の創設/環境部会制度との連携
	○自治会、コミュニティ等との連携		自治会等との連携	◎	環境部会との連携
	○スリム・リサイクル宣言店など市内事業所との連携			◎	事業者との連携
	○事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進			◎	事業者への指導強化
	○国崎クリーンセンター(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)との連携	知らない人、行ったことがない人が多い		◎	DVD貸出制度の創設/バス手配方法の検討
	○近隣自治体等との協調と連携				
2 ごみの発生抑制と再使用の推進	①発生抑制の推進				
	○生ごみの減量化の促進	細かい減量の方法を伝えてほしい		◎	啓発ブックの活用
	○容器包装ごみの削減			◎	啓発ブックの活用
	○よく考えて必要なだけ購入する、不要なものは断る、修理をして長く使うなどごみを出さない行動の実践			◎	啓発ブックの活用
	○事業系一般廃棄物減量化計画書の提出			◎	事業者への指導強化
	○製造、流通過程における発生抑制			◎	製造、流通業者への要請(簡易包装等)
	○マイバッグ持参など消費者に向けた啓発			◎	啓発ブックの活用
	○市の行事やイベントにおけるごみ減量への取り組み			◎	イベント開催場所の考慮/事業者との連携
	○大型ごみ有料制の検討	近隣市はすべて有料化している。市民が納得する数字の把握が必要。業者による持ち去りや他市から持ち込みがある。不法投棄が多い。	シールの購入費用を使って商業など啓発	◎	自治会、環境部会との連携
	○ごみの有料化についての調査研究	袋によってどれだけコストが掛かっているのか、分別が進んでいないのかというのを明確にする必要がある 有料化の前に袋の色を透明・半透明にするほうが先ではないか。		◎	有料化の検討継続 透明・半透明のごみ袋の指定
○市民、事業者への情報発信及び支援事業の実施		啓発・奨励活動の検証・見直し	◎	啓発・奨励活動の検証・見直し	
②再使用の推進	○リターナブルピンの利用等リユースの促進			◎	啓発ブックの活用
	○フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の活用			◎	国崎クリーンセンターとの連携、啓発ブックの活用
	○リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」の利用促進			◎	環境部会との連携、啓発ブックの活用
	○市民、事業者への情報発信		啓発・奨励活動の検証・見直し	◎	啓発ブックの活用、啓発・奨励活動の検証・見直し
	○リターナブルピンの利用等リユースの促進			◎	啓発ブックの活用

	一般廃棄物処理基本計画—具体的施策—	審議会意見		減量効果	主要施策(事務局案)
		意見・課題	対策		
3 再生 利用 の 推 進 と 循 環 の 輪 の 形 成	①再生利用(リサイクル)の推進				
	○ごみの分別及び適正排出の徹底	分別の不徹底。封筒等の紙類を丸ごと燃やすごみに入れるケースも見掛ける。	袋の色指定	◎	透明・半透明のごみ袋の指定
	○店頭回収の促進			◎	啓発ブックの活用
	○携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力			◎	啓発ブックの活用
	○集団回収への積極的な参加	回収量の減少、抜き取りへの対応、店頭回収との重複		○	助成価格の見直し、抜き取り対策の検討
	○分別ルールのがかりやすい啓発	具体的で効果的な減量方法が分からない。不法投棄が多い。		○	DVDの活用、啓発ブックの活用
	○店頭回収など事業所の取り組みに関する情報提供			◎	啓発ブックの活用
	○希少金属(レアメタル)のリサイクルに向けた、小型家電製品の資源化に関する調査研究		小型家電回収と地域商品券を組み合わせる	○	検討の継続
	○ごみ袋の透明・半透明化の調査研究及び導入の検討	リサイクルすべき物はする、リサイクル率のアップになる。モデル地区で袋の色を変えてサンプルリングしてはどうか。	行政側から見える袋の使用を呼び掛ける	○	透明・半透明のごみ袋の指定
	②循環の輪の形成				
	○リサイクル製品や環境への負荷ができるだけ少ない製品の購入				
	○グリーン購入法に基づく製品やサービスの情報提供				